

平成19年度重点プロジェクト事業（海外派遣研究員等旅費）報告 国際ヘルスプロモーション協会（IIHP）2007年会議に参加して

山崎利夫*

はじめに

IIHP (International Institute for Health Promotion) (国際ヘルスプロモーション協会) の2007年会議に参加して発表を行うとともに、会場となったドイツの Heidelberg 大学のスポーツ科学研究所を訪問した。

今回の会議は、ドイツ最古の大学で有名な Heidelberg 大学での開催だった。9月20日から22日まで、世界12カ国から15名の参加者が自国の健康づくりに関する研究や事例を発表し、IIHP のミッション、目的、それに将来構想について活発に意見を交換した。

IIHP について

アメリカの首都ワシントン D.C. にあるアメリカン大学の健康フィットネスセンターは International Institute for Health Promotion (国際健康づくり研究センター) を1996年に設立した。この機関は世界中のヘルスプロモーションに従事する人々の英知を結集させるニーズを踏まえ、ヘルスプロモーションに関する政策、プログラム、サービスそれに調査研究を推進していくグローバルセンターを目指している。世界各国のヘルスプロモーション関連の大学、機関、それに研究所を結んだ連合体を結成し、国際的な協働関係の確立に向けて動いている。IIHP の目的は以下の6つから成る。

1. 世界各国からのヘルスプロモーションに携わる人々に教育プログラムを提供する。
2. 健康に関して世界規模でのヘルスプロモーション

の最新情報を収集・提供する情報センターを設ける。

3. 世界各国がヘルスプロモーション政策を策定、展開、それに実践していくのを支援する。
4. ヘルスプロモーションにとって重要な問題に関する情報を共有化すべく、研究者と政府の政策担当者を対象としたフォーラムを開催する。
5. ヘルスプロモーションにおける共通した重要な課題に取り組むために、アメリカやその他の国で会議やセミナーを開く。
6. 地球規模のヘルスプロモーションの問題に関連した調査・研究を行なう。

現在、IIHP では以下の項目について取り組んでいる。

- ・体力テストの開発
- ・国際的な共同研究の実施
- ・健康危険度評価テストの開発
- ・ヘルスプロモーション政策の立案
- ・国際会議の開催（過去に4回開催）
- ・教育プログラムの開発
- ・短期集中セミナー
- ・ヘルスプロモーション・プログラムの評価方法

現在、30カ国50以上の組織・団体（政府、企業、フィットネスクラブ、大学、研究所、コンサルタント）が IIHP の協働機関として登録されている。アジアからは日本、中国、韓国、台湾、シンガポール、インドの機関が参加している。

*鹿屋体育大学スポーツライフスタイル・マネジメント系



写真1. 会議の発表風景



写真2. 会議で意見交換



写真3. 会議の参加者

2007年会議

2007年の会議は、ドイツ最古の歴史を誇る Heidelberg 大学で開催された。9月20日から22日まで、世界12カ国から15名の参加者が自国の健康づくりに関する研究や事例を発表し、IIHPのミッ

ション、目的それに将来構想について活発に意見を交換した。筆者の発表は、10人中2番目でテーマは“Health Promotion Program for Adults with Risks of Lifestyle-Related Disease”（生活習慣病リスクの高い成人を対象とした健康づくりプログラム）だった。これは2006年度に鹿児島県内の自治体で実施した、生活習慣病予防教室の成果をまとめたものである。

筆者以外の発表者とその発表テーマは以下の通りである。

- Cilas Wilders (South Africa) - The Effect of Intervention on Coronary Prone Executives in the South African Colliery Industry
 - Emmanuel Owolabie (Botswana) - Overweight, Obesity and Metabolic Syndrome in Botswana Urban Male and Female Dwellers
 - GL Khanna (India) - Health of India
 - Gerhard Huber (Germany) - Workplace Health Management and the Project Kraftwerk
 - Antero Heloma (Finland) - Prevention of Smoking at Work
 - Dieter Lagerstrom (Norway) - Friluftsliv- The Nordic Way to Fitness, Health and Well-Being
 - Pavel Stejskal (Czech Republic) - Will Health Promotion Require Experts?
 - Ricardo De Marchi (Brazil) - Health Promotion in Brazil
 - Klaus Weiss (Germany) - Health Fitness Mobile & Health Promotion for the Mosbach Police Force
- アジアからの参加は筆者以外にインドから1人と少なかった。各国からの参加者とはいろいろディスカッションできたが、共同研究や連携を行うに至るまではなかった。

Heidelberg 大学のスポーツ科学研究所への訪問では、代表者である Gerhard Huber 教授から、ドイツの職場における健康づくりの動向について話を伺った。同研究所が BMW 社やフォルクスワーゲン社と共同で開発・提供している自動車工場の組み立て作業員の腰痛予防プログラムに関する情

報の提供を受けた。ドイツ国内の職場では、腰痛の予防・改善が生活習慣病の予防よりもはるかに現実的な問題として取り上げられていることが印象に残った。

最後に

2008年の会議は米国ワシントン DC のアメリカン大学を会場に11月開催の予定である。アメリカ開催なので2008年は前年の倍以上の40名近くの参加が予想されている。筆者は今回も研究成果を発表する予定である。



写真4．ハイデルベルク大学所有の移動式マシンルーム



写真5．ハイデルベルク大学内の会員企業専用マシンルーム